

令和7年度 犀川砂防事務所の事業概要

「確かな暮らしを守り、信州からゆたかな社会を創る」の実現に向けて
～「安全で、安心して暮らせる」ために～
“ハード・ソフト両対策の一体的かつ効率的な減災対策の推進”

1 ハード対策の強化・推進（人命・財産の保全）

■要配慮者利用施設や避難所を守る土砂災害対策事業を推進します。

■砂防施設等の長寿命化対策に取り組みます。

○砂防事業 <土石流の危険を低減します>



《池田町 塩沢》



《松本市 小胡桃沢》



《麻績村 芦澤》



《筑北村 栢平沢》

○地すべり対策事業

<地すべりの危険を低減します>



《安曇野市 高鼻》



《安曇野市 金井沢》



《松本市 社宮寺》



《筑北村 竹之下》

○急傾斜地崩壊対策事業

<家屋裏の急傾斜地からの土砂崩落の危険を低減します>

2 ソフト対策の充実（人命を守る警戒避難体制）

■土砂災害警戒区域等の指定（二巡目）に向けて調査を行います。

指定から概ね5年以上経過し、最新の状況に合わせ見直しを行っています。

■地域防災力強化に取り組みます。

- ・住民主導型警戒避難体制構築（地区防災マップ作成）を支援します。
- ・防災学習や現場見学会を通じて、地域住民や小中学生に対し防災知識の向上に取り組みます。
- ・赤牛先生による地域での防災教育、啓発活動に取り組みます。



《地区防災マップ 住民懇談会》

3 地域との協働による防災力向上の推進

■土砂災害危険箇所のパトロールを、

砂防ボランティア協会等の協力を得て実施します。



《ボランティアによる草刈り》



《小学生の防災学習》

■自治会やボランティア団体による砂防施設周辺の

草刈り等、日常の維持管理を協働で進めます。

砂防ボランティア 23団体（令和6年度14団体で実施）

■登録有形文化財（麻績村 芦澤石積堰堤）

「芦澤砂防計画検討委員会」の検討結果に基づき、

文化財の保護と利活用に配慮した施設整備を行い、

地域づくりと連携した砂防事業に取り組みます。



《芦澤 第三号石積堰堤》



《芦澤 第四号石積堰堤》

令和7年度 犀川砂防事務所 事業箇所図（公共工事）

